

## 1. 総評

**(1) 年度初めの学校の状況 【学校の現状及び前年度の成果と課題】**

明るく素直な生徒が多く、落ち着いた態度で日々の学習や生活に励んでいる。運動会、文化祭などの学校行事や部活動にも一生懸命取り組み、成果をおさめている。学校に対する保護者や地域の期待はとて高く、協力を惜しまない。更なる学力の向上が学校全体の大きな課題である。

**(2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組みの概要****重点的な取組事項－1 学力向上**

- ・落ち着いた学習環境の維持
- ・週3回の放課後補充教室
- ・長期休業中や土曜日の学習講座
- ・家庭学習の充実
- ・授業改善

**重点的な取組事項－2 関係小学校や家庭・地域との連携**

- ・小中連携
- ・家庭との連携
- ・地域との連携・協力

**重点的な取組事項－3 生徒の健全育成**

- ・基本的な生活習慣の徹底
- ・道徳教育の推進
- ・いじめ、不登校への対策

**(3) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性****重点的な取組事項－1 学力向上**

- ・全体としては、大変落ち着いた学習環境が維持できた。
- ・毎日10分の朝学習、週3回の放課後補充教室を実施した。今後さらに内容の充実を図る。
- ・土曜学習講座は計画通り年10回実施できた。次年度はさらに参加生徒数を増やし、生徒が一層満足感を得られる内容にする。
- ・「自主学習ノート」や「家庭学習ガイドブック」の活用などを通して、家庭学習の習慣化に取り組んだ。
- ・全教員が研究授業を行うとともに他の教師の授業参観をするなど、授業改善に取り組んだ。

**重点的な取組事項－2 関係小学校や家庭・地域との連携**

- ・連携小学校との年6回の合同研修会を実施した。
- ・保護者の学校への満足度は上昇している。今後さらなる信頼関係の強化に努める。
- ・創立70周年記念事業をはじめ、地域行事（運動会、お祭り）、六中マルシェなどを通して、地域との連携・協力関係がより確かなものとなった。

**重点的な取組事項－3 生徒の健全育成**

- ・生徒のさわやかなあいさつやきちんとした身だしなみは多くの方からお褒めをいただいた。
- ・道徳の時間は計画どおり実施できている。生徒が主体的に考え、議論する授業を目指す。
- ・不登校生徒はここ数年で見れば減少傾向にあるが、今後もさらなる改善を目指す。また、いじめについてもゼロではないがアンケート等の活用や教員の丁寧な指導により早期解決が図れている。

#### (4) 保護者や地域へのメッセージ

本校は、今年一年、学校の教育目標である、「自ら学び目標をもって努力しよう」「互いに尊重し助け合おう」「困難に耐え心と体を鍛えよう」という3つの柱をもとに、保護者や地域から信頼される学校を目指して教育活動を進めてまいりました。

皆様のご理解、ご協力のおかげで、全体としては、どの学年、どの学級も大変落ち着いた学習・生活環境を維持することができました。生徒たちの明るく元気なあいさつやきちんとした身だしなみなど、来校者からもたびたびお褒めの言葉をいただいています。

生徒たちは、日々の学習はもちろん、学校行事、生徒会を中心とした委員会活動、部活動、地域活動などに一生懸命に取り組みました。特に、運動会や文化祭では全員が一致団結し、当日はほとんど教員の手を借りることなく、生徒自らが主体となって成功させました。

地域とのつながりという意味でも、地域運動会やお祭り等でのボランティア活動、六中マルシェなどに多くの生徒が参加・協力し、地域と密接な関係をもっています。

また、今年度は本校創立70周年という節目の年にあたりましたが、PTAや地域の皆様の多大なるご支援のもと、11月4日(土)には全校生徒参加による記念式典、祝賀会が厳粛かつ盛大な中で行われ、71年目に向けた新たな歩みをスタートさせました。

今後も教職員一同、力を合わせて子どもたちの学力向上や健全育成に取り組んでまいりたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 2. 平成29年度の重点的な取組事項

<達成度 ◎:十分に達成 ○:おおむね達成 △:達成せず ●:課題が残る>

### 重点的な取組事項－1 学力向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
基礎学力を身に付けさせ、目標値に達しない生徒を減少させる。	「区学力調査」通過率: 国語・数学 60% 英語 50%	通過率は 国語 70.6% 数学 50.6% 英語 44.5% であった。	3教科すべてで通過率が昨年度より上昇したが、数学、英語は達成基準を満たせなかった。	●

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
落ち着いた学習環境の維持	全生徒が安心して学習できる環境	教室環境の整備、挨拶やチャイム着席など学習規律の徹底	全学年でおおむね達成できた。	学力向上の土台であり、次年度も継続させる。	○
放課後補充教室	週3回(40分)を確保する。	全教員で英語、数学を中心とした個別指を行い、つまづきを解消する。	学習支援ボランティアの協力も得られ、行事前などを除き、計画的に実施できた。	次年度も継続させ、さらなる内容の充実を目指す。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
長期休業中等の学習機会の確保	夏季休業中は7日、土曜学習講座は年10回	面談や保護者会などで周知し、積極的に参加できるようにする。開かれた学校づくり協議会の協力を得て、開講する。	計画通り100%実施できた。 1年数学については、「夏休み数学特訓」も実施した。	全校体制での取組ができた。さらに生徒の満足感が得られる内容にしていく。	◎
家庭学習の充実	全学年で「自主学習ノート」等を活用し、日常的に学習する習慣を身に付けさせる。	ノート点検等を通して励ましたり、小テストなどに向けた具体的な目標を与えたりして、家庭学習を支援する。	全学年で「自主学習ノート」を活用した。今年度新たに「家庭学習ガイドブック」を作成し、家庭学習の重要性を啓発した。	1日の家庭学習時間が1時間未満の生徒が約半数おり、次年度以降の課題として残った。	●
授業改善・若手教員の育成	生徒が主体となって取り組む授業を行う。	研究授業を年1回以上、他の教員の授業参観を年3回以上行い、授業改善に役立てる。	計画通り100%実施できた。	教科指導専門員の支援等もあり、全校で授業力向上への意識が高まった。	◎

## 重点的な取組事項－2 関係小学校や家庭・地域との連携

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域からなお一層信頼される学校づくり	学校評価アンケートにおける各項目の満足度を80%以上にする。	15の設問項目すべてで、好意的回答が81.4%以上であった。十分な連携・協力できたものとする。	次年度以降も家庭・地域・学校の連携をより強固なものにしていく。	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
小中連携	小学校との年間6回の合同研修会を開催する。	生徒の学力向上、健全育成に役立つ内容とする。	計画した内容に加え、小6授業体験、小学校夏季補習ボランティアなどにおいても連携できた。	小中の合同研修会の内容をさらに充実させる。	◎
家庭との連携	学校への満足度を上げる。	学校の情報を細かく発信し、保護者と教員の信頼関係をより強固にする。	学校評価アンケートでは、好意的回答が81.4%～99.5%であった。	学校の教育活動には概ね満足してもらっている。	◎
地域との連携・協力	各行事に生徒を参加させる。また、創立70周年事業を成功させる。	六中マルシェ、地域運動会、荒川ウォーク、住区まつりなどへの参加を呼びかける。周年実行委員会と緊密に連携する。	すべての行事に多くのボランティア生徒、教員が参加・協力した。創立70周年事業は、計画通り成功裏に終えることができた。	今後も地域と密接に連携し、「地域とともに歩む学校」を目指す。	◎

重点的な取組事項－3 生徒の健全育成

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
全生徒が安心して生活し、自らの成長を実感できる学校にする。	いじめ・不登校の防止	アンケート調査から、約75%の生徒が「学校が楽しい」と回答している。	現状に満足せず、さらにレベルアップを図っていく。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
基本的な生活習慣の徹底	きれいで落ち着いた学校の実現	あいさつ運動や全身だしなみチェックなど全教職員で共通した指導を行う。	全体としては、生徒と教員の信頼関係を土台に、落ち着いた校内環境を維持できた。	あらゆる教育活動の土台になるので、今後も大切にしていきたい。	◎
道徳教育の推進	教科化を見据え、全学級で道徳の時間の充実を図る。	道徳教育推進教師を中心とした校内組織体制をもとに、「考え、議論する道徳」を目指す。	年間計画に沿った授業がなされ、道徳教育に対する教員の意識は年々高まっている。	全体計画、年間指導計画を見直し、新学習指導要領に基づいた道徳教育を推進する。	○
いじめ、不登校への対策	年間30日以上長期欠席者数の昨年度比10%減といじめの根絶	家庭はもちろん、スクールカウンセラーや関係機関との連携を図る。また、いじめアンケートを毎月行う。	不登校は数年前に比べて減少しているが、10%減には届かなかった。いじめは早期発見、早期解決ができています。	家庭との協力関係を土台に、丁寧な指導を行い、未然防止、早期発見に努める。	●

3. 学校活動全般について

地域や保護者の理解・協力もあり、全体としては大変落ち着いた状況の中で、すべての教育活動が計画どおり実施できた。

学習面は英語、数学など積み重ねが大切な教科を中心に、基礎・基本の定着が不十分な生徒が目立ち、学力向上が大きな課題の一つになっている。この課題に対しては「授業改善（分かる授業、規律ある授業、生徒が主体となって活動する授業）」「補充教室の実施」「家庭学習の定着」という3つの柱をもとに、課題解決を目指していく。

生活面では、あいさつ、身だしなみ、時間やルールを守るなど、社会に出ても必要となる基本的な生活習慣の定着を今後も大切に、「きれいで落ち着いた学校」を実現する。

また、本校のもう一つの課題である不登校については、少しずつ改善傾向にはあるものの、依然課題として残っている。学校でもスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも加えた校内委員会を設置して組織的に解決を目指しているが、今後も各家庭をはじめ、こども支援センター等との連携も図りながら、一人一人の生徒の状況に応じたきめ細かな支援を継続していく。